

1-4

福祉施設における近隣地域との交流

地域に根付く施設への取り組み

複合型 福祉施設 第二清風園

介護支援専門員 本村 真典

東京都町田市薬師台3-270-1

TEL 042-736-6906

E-mail seifu2@san-ikukai.or.jp

FAX 042-736-6093

URL <http://www.san-ikukai.or.jp/machida/seifu2>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

設立から今年で89年の社会福祉法人賛育会が母体。特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所を構える複合型の福祉施設です。閑静な住宅地で周りにはみどりも多く環境の良い施設です。

〈取り組んだ課題〉

私たちの地域では、昭和39年に開設した清風園が隣町にあるため、古くから地域に根付いている清風園のほうが、私ども平成9年に開設した第二清風園より認知度が高く、直接利用などが無い方々にはあまり知れ渡っていない現状がある。地域福祉の拠点として、私たちの働きや取り組みを、一人でも多くの地域住民の方に知っていただくために、地域交流を介して近隣住民へ働きかける会を発足し取り組みを行った。

〈具体的な取り組み〉

取り組みとしては、利用者も楽しく参加内容も念頭に置き、福祉施設と地域の交流を主眼に様々な催しを企画、利用者、利用者家族、近隣住民、ボランティア等に参加していただくことで、第二清風園がどのような施設なのかをってもらうことを行った。

フリーマーケット
夏喫茶
地域防災訓練
餅つき
花壇コンクール
地域美化活動等
喫茶コーナーの営業検討
他

〈活動の成果と評価〉

地域柄、新しい住宅地であり若い世代の方が多いため、福祉しての直接的な関わりが少ないようである。会の参加者には、何か建物があることは知っていたがそこが何かは分からなかったなど声を聞いた。

会を発足してまだ1年ですのでまだまだ十分な成果が出ているか数値上にはあらかしにくい点ではある。しかし、新規相談時には、昨年の〇〇の会に参加したことがありますなど話があるため少しずつ根付いていると感じ取れ、これからの活動を続けていく必要性を感じた。

〈今後の課題〉

私たちがどのような仕事をしているか分かっていたためには、1年1年の活動を継続することが大切である。開かれた施設を目指し、地域の方々が気軽に立ち寄れる施設を目指す。

- * 年間の活動を継続して地域との関わりを維持する。
- * 喫茶店の委託運営と地域開放
- * 利用者が楽しく過ごせる施設

これらの活動を通じて、福祉に関する地域の相談窓口としてしての機能を発揮できるよう、貢献的活動を継続していく。